



Better Health, Brighter Future

会社名 武田薬品工業株式会社

代表者 代表取締役社長 CEO クリストフ・ウェバー

(コード番号 4502 東証プライム市場)

報道関係問合せ先 グローバル コーポレート アフェアーズ

齊藤 潤 03-3278-2325

E-mail: jun.saito@takeda.com

## News Release

2023年10月26日

### 通期業績予想(IFRS)の修正に関するお知らせ

当社は、このたび、2023年5月11日に公表しました2024年3月期の通期連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせします。

#### 記

#### 1. 2024年3月期の連結業績予想数値の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位:百万円)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
当初公表予想(A)*	3,840,000	349,000	185,000	142,000	90円75銭
今回修正予想(B)	3,980,000	225,000	70,000	93,000	59円45銭
増減額(B-A)	140,000	△124,000	△115,000	△49,000	—
増減率(%)	3.6%	△35.5%	△62.2%	△34.5%	—

\*2023年5月11日公表

(単位:百万円)

	Core 売上収益	Core 営業利益	Core EPS
当初公表予想(A)*	3,840,000	1,015,000	434円
今回修正予想(B)	3,980,000	1,015,000	447円
増減額(B-A)	140,000	—	—
増減率(%)	3.6%	—	—

\*2023年5月11日公表

#### 2. 修正の理由

売上収益は、為替の円安傾向を考慮し公表予想の前提為替レートを変更したことにより、1,400億円増収(+3.6%)の3兆9,800億円に上方修正しました。

営業利益は、当初公表予想から 1,240 億円(△35.5%)減益の 2,250 億円に下方修正しました。これは主に、「アロフィセル」と「EXKIVITY」に係る無形資産減損損失を上期に計上し、製品に係る無形資産減損損失の予想の前提条件を修正したことによるものです。また、その他の営業費用についても、当初公表予想では見込んでおらず織り込んでいなかった上期に計上された引当金を反映し、修正しています。

本業に起因しない非中核の事象による影響を調整した Core 営業利益は、当初公表予想の1兆 150 億円を据え置いています。

当期利益(親会社の所有者帰属分)は、490 億円(△34.5%)減益の 930 億円に下方修正しました。税引前利益は当初公表予想から減益となることを見込んでいますが、2014 年に Shire 社が受領した買収違約金に係る税務評価について、アイルランド歳入庁と和解したことにより 635 億円の税金費用を上期に減額したことから、当期利益(親会社の所有者帰属分)に対する影響の大部分は相殺できる見込みです。

財務ベースの EPS は、34.5%減少の 59 円 45 銭、Core EPS は、3.1%増加の 447 円を見込んでいます。

### 3. 目標とする経営指標(マネジメントガイダンス)

当社は、Core 売上収益、Core 営業利益、Core EPS の CER(Constant Exchange Rate:恒常為替レート)ベースの増減率をマネジメントガイダンスとしております。通期のマネジメントガイダンスにつきましては、2023 年5月 11 日の決算発表時から修正ありません。

	2023 年度マネジメントガイダンス CER ベース増減率(%)
Core 売上収益	一桁台前半%の減少
Core 営業利益	10%台前半の減少
Core EPS	20%台前半の減少

### <武田薬品について>

武田薬品工業株式会社(TSE: 4502/NYSE: TAK)は、世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献することを目指しています。消化器系・炎症性疾患、希少疾患、血漿分画製剤、オンコロジー(がん)、ニューロサイエンス(神経精神疾患)、ワクチンといった主要な疾患領域および事業分野において、革新的な医薬品の創出に向けて取り組んでいます。パートナーとともに、強固かつ多様なパイプラインを構築することで新たな治療選択肢をお届けし、患者さんの生活の質の向上に貢献できるよう活動しています。武田薬品は、日本に本社を置き、自らの企業理念に基づき患者さんを中心に考えるというバリュー(価値観)を根幹とする、研究開発型のバイオ医薬品のリーディングカンパニーです。2 世紀以上にわたり形作られてきた価値観に基づき、社会における存在意義(パーパス)を果たすため、約 80 の国と地域で活動しています。

詳細については、<https://www.takeda.com/jp/>をご覧ください。

### <重要な注意事項>

本注意事項において、「ニュースリリース」とは、本ニュースリリースに関して武田薬品工業株式会社(以下、「武田薬品」)によって説明又は配布された本書類並びに一切の口頭のプレゼンテーション、質疑応答及び書面又は口頭の資料を意味します。本ニュースリリース(それに関する口頭の説明及び質疑応答を含みま)は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申込み、交換、売却その他の処分の提案、案内若しくは勧誘又はいかなる投票若しくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明又は形成するものではなく、またこれを行うことを意図しておりません。本ニュースリリースにより株式又は有価証券の募集を公に行うものではありません。米国 1933 年証券法の登録又は登録免除の要件に基づいて行うものを除き、米国において有価証券の募集は行われません。本ニュースリリースは、(投資、取得、処分その他の取引の検討のためではなく)情報提供のみを目的として受領者により使用されるという条件の下で(受領者に対して提供される追加情報と共に)提供されております。当該制限を遵守しなかった場合には、適用のある証券法違反となる可能性があります。

武田薬品が直接的に、又は間接的に投資している会社は別々の会社になります。本ニュースリリースにおいて、「武田薬品」という用語は、武田薬品及びその子会社全般を参照するものとして便宜上使われていることがあります。同様に、「当社(we, us 及び our)」という用語は、子会社全般又はそこで勤務する者を参照していることもあり得ます。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることもあり得ます。

本ニュースリリースに記載されている製品名は、武田薬品または各所有者の商標または登録商標です。

### <将来に関する見通し情報>

本ニュースリリース及び本ニュースリリースに関して配布された資料には、武田薬品の見積もり、予測、目標及び計画を含む武田薬品の将来の事業、将来のポジション及び業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする(targets)」、「計画する(plans)」、「信じる(believes)」、「望む(hopes)」、「継続する(continues)」、「期待する(expects)」、「めざす(aims)」、「意図する(intends)」、「確実にする(ensures)」、「だろう(will)」、「かもしれない(may)」、「すべきであろう(should)」、「であろう(would)」、「かもしれない(could)」、「予想される(anticipates)」、「見込む(estimates)」、「予想する(projects)」などの用語若しくは同様の表現又はそれらの否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではありません。これら将来見通し情報は、多くの重要な要因に関する前提に基づいており、実際の結果は、将来見通し情報において明示又は暗示された将来の結果とは大きく異なる可能性があります。その重要な要因には、日本及び米国の一般的な経済条件を含む武田薬品のグローバルな事業を取り巻く経済状況、競合製品の出現と開発、世界的な医療制度改革を含む関連法規の変更、臨床的成功及び規制当局による判断とその時期の不確実性を含む新製品開発に内在する困難、新製品及び既存製品の商業的成功の不確実性、製造における困難又は遅延、金利及び為替の変動、市場で販売された製品又は候補製品の安全性又は有効性に関するクレーム又は懸念、新規コロナウイルス・パンデミックのような健康危機が、武田薬品が事業を行う国の政府を含む武田薬品とその顧客及び供給業者又は武田薬品の事業の他の側面に及ぼす影響、買収対象企業との PMI(買収後の統合活動)の時期及び影響、武田薬品の事業にとっての非中核資産を売却する能力及びかかる資産売却のタイミング、当社による省エネルギーへの取り組み及び将来の再生可能エネルギー又は低炭素エネルギー技術の発展による当社の温室効果ガス排出量の削減の程度、武田薬品のウェブサイト (<https://www.takeda.com/jp/investors/sec-filings/>) 又は [www.sec.gov](http://www.sec.gov) において閲覧可能な米国証券取引委員会に提出した Form 20-F による最新の年次報告書並

びに武田薬品の他の報告書において特定されたその他の要因が含まれます。武田薬品は、法律や証券取引所の規則により要請される場合を除き、本ニュースリリースに含まれる、又は武田薬品が提示するいかなる将来見通し情報を更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また、本ニュースリリースにおける武田薬品の経営結果及び情報は武田薬品の将来の経営結果を示すものではなく、また、その予測、予想、保証又は見積もりではありません。

以上